

開館 25 周年記念特別展  
スリーピング・ビューティー

2014年5月17日(土)～7月21日(月・祝)

現代美術における「美」とは…。

スリーピング・ビューティー  
表現の奥深くに隠れた美しさ「眠れる美」を見出す試み。

「美は痙攣的なものであるにちがいない。さもなくば存在しないであろう」

アンドレ・ブルトン『ナジャ』

美しいものに思いがけず出会った時、私たちは知らず知らず幸せな気分を味わいます。

美しいものの本質である「美」とは、かつてその定義を巡って思索を続けた古代ギリシャの哲学者たちによれば、調和、均衡、秩序など一定の規定を満たした、直感的にとらえることのできる端的な形のあり様です。そして、これらいわゆる「美の規範」は近代以降失われてしまったようです。もしそうであるなら、現在の私たちは「美」をどのようにして感じているのでしょうか？また、視覚的にはっきりしているからこそ見ることのできる「美」の要素が、作品の奥深くに潜んでしまうことのできる現代美術において、その表面的な外観から瞬間的に「美」をとらえることができるのでしょうか？

広島市現代美術館開館25周年を記念し開催するこの展覧会では、イヴ・クライン、草間彌生、白髪一雄、三木富雄、ドナルド・ジャッド、アグネス・マーティンなどの当館コレクションを主として、国内の美術館が所蔵する優品、さらにはアンジュ・レッチア、小谷元彦、田口和奈、岩崎貴宏といった国内外で活躍する作家の作品をまじえて、「美」について考える機会としたいと思います。

「眠れる美」を覚醒させるきっかけは自分自身の中にも。

この展覧会では、芸術作品と呼ばれるものが、前衛的で思想主導的な性格を強めてしまい、その作品から美的要素が切り離されて考えられがちな現代において、「美」という概念そのものを敢えてテーマとして取り上げます。そして、「美」を感じさせるきっかけは何か、「美」はいったいどこに存在するのか、といった問題を積極的に提起するため、さまざまに表現と関わる「身体」をもとに考えます。デフォルメされた身体表現、身体を想起させる痕跡としての表現、表現のなかの身体性の存在と不在、自然を前にした身体反応による表現といった視点を通して、現代美術における「美」の諸相に迫ります。

しかしながらこの展覧会は、難解な「美」の概念を捉えることが目的ではありません。永い眠りから覚めた王女の第一声がいみじくも、ここでとるべき立場を示しています：「あなたでしたの、王子さま？ずいぶんお待ちしていましたのよ」（シャルル・ペロー『眠れる森の美女』）。つまり、さまざまな表現のうちにある「眠れる美」を目覚めさせるきっかけは、作品に向き合う私たちの内に存在するのです。

この展覧会が、芸術における痙攣的な「美」との出会いを体験する場として、「美」そのものと積極的に交わり、さらに眠りから覚めた「美」を見いだした各人が、「美」こそが人々の自己回復の機会をもたらしてくれる希望そのものであることを、もう一度感じていただく場となることを願います。



イヴ・クライン《ブルーのヴィーナス》  
1970  
広島市現代美術館 蔵  
© ADAGP, Paris&JASPAR, Tokyo,  
2014 E0914



草間彌生《The Man》1968  
広島市現代美術館 蔵  
© Yayoi Kusama



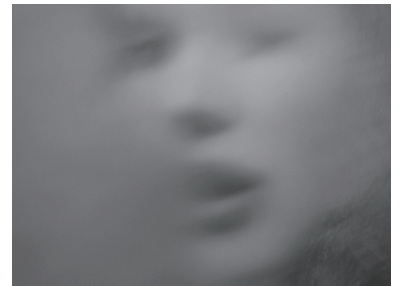
小谷元彦《ダブル・エッジド・オブ・ソート(ドレス2)》1997  
金沢 21 世紀美術館 蔵  
撮影：国守正和  
courtesy: YAMAMOTO GENDAI

## 開催概要

- 【会期】 2014年5月17日(土)～7月21日(月・祝)  
 【開館時間】 10:00～17:00  
 ※ただし7月20日(日)、21日(月・祝)は19:00まで  
 ※入場は閉館30分前まで  
 【休館日】 月曜日(7月21日を除く)  
 【観覧料】 一般1,030(820)円、大学生720(620)円、  
 高校生および65歳以上510(410)円  
 ※( )内は前売りおよび30人以上の団体料金  
 ※中学生以下無料  
 【主催】 広島市現代美術館、中国新聞社  
 【後援】 広島県、広島市教育委員会、広島エフエム放送、尾道エフエム放送



アンジュ・レッチア《海》  
2013  
© Ange Leccia



田口和奈《窮迫の、深みの》  
2009/2012  
copyright the artist  
courtesy ShugoArts



岩崎真宏《Reflection Model》  
2001  
森美術館 蔵  
Courtesy ARATANIURANO

## 出品作家

ジャン・アルプ、マシュー・バーニー、コム デ ギャルソン／川久保玲、  
 マーティン・クリード、ダン・フレイヴィン、岩崎貴宏、ドナルド・ジャッド、  
 菊畑茂久馬、イヴ・クライン、ウィレム・デ・クーニング、草間彌生、  
 アンジュ・レッチア、モーリス・ルイス、アグネス・マーティン、三木富雄、  
 三宅一生、宮本隆司、ヘンリー・ムーア、村上友晴、小谷元彦、ゲルハルト・リヒター、  
 志賀理江子、白髪一雄、キキ・スミス、田口和奈、レイチェル・ホワイトリード  
 ほか

## 関連プログラム

地元広島在住の岩崎貴宏によるアーティスト・トークや、映画上映会など、展覧会をより楽しむための関連プログラムを開催いたします。日時・詳細内容など確定次第、館ウェブサイト等でご紹介します。

### 【同時開催】

#### ●コレクション展 2014 - I

○△□-美術のなかの幾何学的想像力-

2014年3月15日(土)～6月8日(日)

#### ●夏のワークショップ・プロジェクト 2014

音であそぼう! 野村誠の音楽室

2014年7月26日(土)～9月23日(火・祝)

### 【次回開催】

#### ●第9回ヒロシマ賞受賞記念

ドリス・サルセド展

2014年7月19日(土)～10月13日(月・祝)